



八千代市の自然を歩こう！



ハイケボタルの飛跡 ひせき ハイケボタルが安定的に生息するためには、幼虫期を過ごす冬場にも水がかれない水田（しつてん 湿田）、湿地、えさとなる巻貝、また、それに接して成虫期を過ごす林も必要です。



石神谷津（5月） 以前、夏にはたくさんのハイケボタルが見られた谷津ですが、近ごろ、ホタルの数は減っています。

空からみると（地形）

市の面積は約51 km²です。地形を大きく見ると、**台地**と**低地**に分かれます。

低地にはいくつもの川が流れ、一番大きな川は新川です。その新川には桑納川や神崎川などの支流が流れこんでいます。支流にはさらに細かい川が流れ込んでおり谷を刻んでいます。この地形を**谷津**といいます。また東部には高野川があり、これらの川はみな印旛沼に流れています。南部には勝田川や高津川があり花見川に流れています。

新川の南端は花見川とつながり、増水時に東京湾に注ぐようになっていますが、こちらは人工的なものです。



印旛村の上空より
八千代市を見ている。